

条件付きロジスティック回帰

条件付きロジスティック回帰 (conditional logistic regression) の機能は `clogit` コマンド ([R] `clogit` 参照) により提供されます。二値の従属変数を対象とするという点では通常のロジスティック回帰と変わりませんが、データがグループ分けされており、かつ尤度が各グループ内での相対において算出される — conditional likelihood — という点が異なります。

この推定法は通常、マッチングの取れた症例対照研究 (matched case-control studies) データを解析する際に用いられます。その場合のマッチングとしては 1:1 に限らず、グループごとに比率の異なる $1:k_{2i}$, $k_{1i}:k_{2i}$ ($i = 1, 2, \dots, n$) といったマッチングも許容されます。

なお、データをパネルデータとして解釈し、グループごとに固定効果 (fixed effects) を有するロジスティックモデルを想定した場合、それは `clogit` と等価なものとなります。

